

04. 『街のテクスチャ』

街でみかけた建物や看板や壁面といった、「あれはナニ?」と気になったものを取り上げていきます。



写真の右縁に企業さまのロゴが見える通り、これはNTT西日本さんの菊井ビルです。その上に立つ紅白の大きなアンテナは地上から約240mの高さであるとのこと。各地域のドコモビルと通信電波を送受信するためのパラアンテナが設置されており、菊井町の目印にもなっています。

05. しんみち・採集記

安田印刷工業の近くでみつけたグルメや商品などを紹介していきます。今回は最寄りの喫茶店です。



カフェラ・ジールさんはランチによく訪れます。メニューが豊富で、だいたい1,000円前後で食事ができるイメージです。こちらのオムライスは、980円。チキンライスの上にとろりとした玉子と玉ねぎたっぷりのトマトソースが魅力的。

カフェラ・ジール【営業時間：7:00～17:00・土日祝日休業】
名古屋市西区新道 2-8-6（浅間町駅出口3から徒歩約7分）

06. Tomo's TALK 代表取締役社長 安田 智雄のコラム



4月のとある週末、友人たちと共に宮古島への旅行を楽しみました。中部国際空港から約2時間のフライトで到着。天候にも恵まれ、ホテルの窓から一望できる美しいエメラルドブルーの海はまさに圧巻の景色でした。

食事也非常に美味しく、沖縄そばやソーキそば、地元の新鮮な海産物や海ぶどうなど、宮古島の特産品を堪能しました。夜は居酒屋で沖縄おでんや手びち、さらに名物ステーキを楽しみ、翌朝はお腹いっぱい朝食が食べられないほどでした。宮古島では韓国や台湾からの観光客も増え華やか

な雰囲気ですが、一方で地元の人々の経済的な厳しさも垣間見えました。例えば、タクシー運転手の40代女性は、昼間はバスの運転手をし、週末も休まずタクシーを走らせて生活費を稼いでいると話してくれました。

また、観光地で働く女性たちの中には、全国各地から宮古島に移住してリゾートバイトをしている人も多くいました。彼女たちはオンライン面接を経て飛行機代を支給されて宮古島に来て、仕事をしているとのこと。日中は自由時間を楽しみ夜だけ働くという、観光地ならではのライフスタイルを



送っていました。この旅を通じて、美しい自然や華やかさだけでなく、地元の人々の生活や働き方にも触れ、貴重な体験ができました。宮古島の魅力を再確認すると共に、その裏側にある現実も見つめ直せた、非常に有意義な旅となりました。

より良い印刷のためにできること

SOUZOU

May 2026
Vol.
60
TAKE FREE



- 01. Print of Creative
印刷ってそんなに難しいの？
- 02. Shine's EYE
スタッフのひとりゴト
- 03. 今月の推し紙
- 04. 街のテクスチャ
- 05. しんみち・採集記
- 06. Tomo's TALK Overview

お客様の思いを伝えることがYASUDAの使命です。

2026年4月末日 発行
発行者: 安田 智雄
発行所: 〒451-0043
名古屋市西区新道2丁目13番10号
安田印刷工業株式会社
TEL.052-533-0088
FAX.052-571-1200

SNS・HPは
こちらから



SDGs宣言企業を
応援いたします。

安田印刷工業がお手伝いいたします

各種印刷物からWeb、広告、販促物などお客様の思いを伝えることならお気軽にご相談ください。

【印刷物一例】名刺/DM/チラシ/ポスター/冊子/カタログ/リーフレット/POP UP/のぼり/懸垂幕/横断幕/パッケージ etc.

【経営理念】『球角球』お客さまの要望に応え 自らの成長を志し お客さまを創造し続ける

YASUDA
PRINTING CO., LTD.

Yasuda Printing Co.,Ltd

01. Print of Creative

「印刷って、ボタンひとつでみんなコピーみたいにキレイにできちゃうんでしょ？」最近パソコンで何でも調整できる時代。だから、そう思われる方も多いかもしれません。でも、もし本当にそんなに簡単なら、世の中から印刷トラブルはなくなるはずですよね。実際は、納品までには表からは見えない「職人の

試行錯誤」が詰まっています。そこで、普段はなかなかお見せできない現場の裏側を、担当者に直撃インタビュー！「印刷物ができるまでの苦労話」を、回を重ねてお届けしていきます。弊社の現場は、正直に言って「ピカピカのオフィス」ではありません。毎日清掃は欠かしてませんが、重厚な機械の音、

積み上げられた大量の紙、そして独特なインクの匂い……。ちょっと武骨な「町工場」です。でも、この匂いと音の中に、私たちのこだわりが詰まっています。さて、まずは基本の「キ」から。我が社の主力でもある生産部（印刷部門）の方にいろいろとお話を伺ってみたいと思います。



■ローラーに付着した紙粉（紙の繊維やコーティング剤）が堆積し、印刷不良（空回り、重送）を引き起こす。

枚数が少ない仕事だと、色を合わせるのもさらに大変そうですね。

まさにそこが腕の見せ所です。オフセット印刷機は本来、数千枚と刷り続けることで色が安定してくる特性があります。でも最近は小ロットの短納期も多い。色が落ち着くのを待つ余裕がない中で、いかに早く数枚のうちに「正解の色」へ最短距離で持っていくか。その日の機械の状態を読み、一発で決める経験値と集中力が求められます。予備の紙も限られているため失敗は許されず、数が少ない仕事ほど、実は一瞬も気が抜けない極めて高い精度の「真剣勝負」の連続になります。

見た目は同じ紙でも、その時々で扱いが変わるんですね。

そうですね。だからこそ、料理人や大工さんがそうであるように、道具の手入れ（メンテナンス）と経験値が全て。インキや水を左右ムラなく安定供給できるよう、毎日指先の感覚でローラーを追い込んでいく。車のワイパーが段々とガラスの汚れを排除できなくなっていくように、メンテナンスをサボればすぐにボロが出る。私たちにとって、日々の手入れこそがノウハウの塊なんです。

職人の勘が頼りなんですね。実際に刷る時のポイントなどはありますか？

総ベタの中に淡い写真があるものや、細かな抜き合わせの文字があるものなどは神経を使いますね。色の再現で言えば、数値指定で作られた紺色、セピア、グレー系。これらは「転びやすい」んです。また、オフセット機は枚数を刷ることで色が安定する特性があるため、実は小ロットのものほど、短時間で色を合わせきる高度な技術が求められます。

なるほど。ただ「ボタンを押す」のとは訳が違う。

そう。設計が少しでもズレていると、折ったときに白い線が出たり、色が重ならなかったり……。だからこそ、現場と営業、制作が「どうすれば最高の一枚になるか」を常に話し合っています。うちの工場は武骨な町工場ですけど、この音と匂いの中に、そんな僕らの「想像と創造」が詰まっているんです。



現場で聞きたいいろいろなお話

印刷ってそんなに難しいの？

印刷をお願いしたらパソコンでデータ作って刷るだけでしょ？…と持っている方へ実際の現場で起きているトラブルや苦労などを聞いてみました。

さっそくですが、印刷の難しいところってどんなところなんですか？

難しいところは、山ほどありますよ（笑）。まず知ってほしいのは、私たちが扱う印刷機は航空機並みの部品数を持つ精密マシンの塊だということ。でも実は、そこで行われているのは水と油の反応を利用した「アナログな化学反応」なんです。だから、PC画面で見る色やカラーコピーなどの簡易的な出力の色を100%再現するのは、プロの現場でも常に高い壁として立ち上がる難しい課題なんです。

アナログな化学反応……！それをどうやって調整しているんですか？

インキの出し方、浸し水の調合や温度、供給量。これらが複雑に絡み合い、わずかな違いで色の濃度は変わります。理想は「最少の水とインキで最高の濃度を出す」こと。これができる、仕上がりに美しい艶が出て、乾きも早くなる。この絶妙な均衡に加え、1,000分の一秒単位で流れる紙の状態も計算しなければなりません。数値だけでは制御しきれない世界です。

数値で制御しきれない……。具体的に、どんなことが起きるんですか？

例えば紙そのものの物理的な変化ですね。湿度の影響で伸び縮みするだけでなく、紙から出る不純物がゴム性ローラーに侵入してきます。これが溜まると色がムラになる。また、ローラー間の隙間や左右のバランスも常に変化しています。さっきまで順調でも、環境の変化で色の重なりがズレ始める。ほんの僅かな変化が、仕上がりの明暗を分けてしまうんです。

02. Shine's EYE スタッフのひとりと



最近、車の流れが遅くなっていると感じませんか？（制作部 Y）

最近、道路を走る車のスピードが全体的に緩やかになったと感じませんか？先日、名古屋と岐阜を結ぶ国道21号、通称「名岐バイパス」を走った際のことです。制限速度は60kmですが、混雑もないのに周囲の車は45kmほどでノロノロ。私が免許取り立ての頃は「ここは高速道路か？」と思うほど全体の流れが速く、緊張してハンドルを握った記憶がありますが、今は随分と様相が違います。その理由は何か。周囲を窺うと、スマホに目を落としているドライバーの多さに驚かされます。ナビ代わりの利用も多いのですが、

信号での発進遅れも目立ちます。速度超過が危険なのは当然ですが、意識を奪われる「漫然運転」は恐ろしいもの。先日三重県でスマホ操作により6名もの尊い命が奪われる事故がありました。そこまでのリスクを冒してまで画面を注視することに、私は強い異常性すら感じてしまいます。4月からは自転車のスマホ利用も厳罰化されました。車も歩行者も「ながら」がもたらす悲劇を今一度、真剣に考えるべきでしょう。一人ひとりの視線が、誰かの命を守ることに直結しているのです。

03. 今月の推し紙

今回は、株式会社 竹尾様の取り扱い代表的で高級なファンシーペーパー、「ヴァンヌーボーV」をご紹介します。



写真では判りづらいのですが、平らな紙ではなく若干のエンボス加工がされており、そのラフな手触りからマットな質感とは反して印刷された部分にはインクの光沢感が見られるという紙になります。高級感を演出したいパンフレットや名刺、カタログなどにおすすめの紙となっております。